

# 大田区版「地域共生社会の実現」へのイメージ ～包括的支援体制の構築に向けて～

自分のこと、家族のことで困りごとがあったら、まずは相談しましょう。  
また、身近な人の困りごとに気づいたら、ご存じの相談窓口積極的につなぎましょう。



課題を把握・整理

丁寧な聞き取り

区の支援、社会福祉協議会の支援、民間サービス、地域資源を総動員して支援計画を作成

サービス提供  
伴走支援 開始

困りごとが解決し、安心して生活できるようになったら、地域に目を向けてみてください。自分に合った活動があったら、ぜひ参加してみましょう。また、引き続き、地域で見守る体制も大切です。



そのために！

## 複合課題に取り組む個別支援

対象者ごと・分野ごとに整備された相談支援機関は、相談者一人ひとりの声を丁寧に聞き取り、課題を整理します。  
複合課題には、関係する複数の相談支援機関が連携して、チームで対応します。

- 地域包括支援センター
- 生活再建・就労サポートセンター-JCBOTA
- 障がい者総合サポートセンター
- 在宅医療相談窓口
- 配偶者暴力相談支援センター
- 子ども家庭支援センター
- 教育センター
- おおた成年後見センター
- 民間相談支援事業者など

複合課題には  
チームで対応

見守り

循環

つなぐ

そのために！

## 支援と共生の地域づくり

### 支えあい

「お互いさま」の精神で！



例えば、電球の交換や、買い物への同行などが考えられます。  
顔の見える関係をお隣同士からご近所、地域へと広げていき、小さな悩みでも気軽に相談しやすい環境をつくっていきましょう。

### 気づき・見守り・つなぐ

ほんの少し勇気を出そう！



日々の見守り活動の中で課題を抱える方に出会ったり、サービス提供を通じて自分では解決できない課題を見つけたら、身近な相談窓口につなぐことが大切です。

### 地域づくり

あなたの一歩から始まる！

地域ごとに行われている取り組みを、地域を知る入口として活用しましょう。  
ボールウォークやまち歩き、地図づくりなどを通じて、地域の強みや課題を共有することが、地域の未来を一緒に考えることにつながります。



### 社会貢献活動

地域密着で愛されよう！



社会福祉法人や区内事業者、民間企業には、本来業務によって蓄積されている知識や技能、資源を活用した公益的な活動が求められます。  
例えば、所有する施設の無償提供や、イベントの共催、就労訓練の場の提供など、幅広い活躍が期待されます。

## 地域福祉を推進するコーディネーター

(区の地域福祉課地域包括ケア推進担当、社会福祉協議会の地域福祉コーディネーター、地域包括支援センターの見守りささえあいコーディネーター、地域ささえあい強化推進員)

地域福祉を推進するコーディネーターは、個々の生活課題や地域の課題と、公的サービスや支援機関、社会福祉協議会の事業、地域資源などを結びつけていく重要な役割を果たします。

要支援家庭等対策委員会など区の検討組織は、相談支援機関と連携し、複合課題に対応するための環境整備を行います。

具体的な事例のPDCAを実施・蓄積することにより、個別の課題を普遍化させた連携の仕組みや、連携に支障のある手続き等の簡素化を検討します。

連携

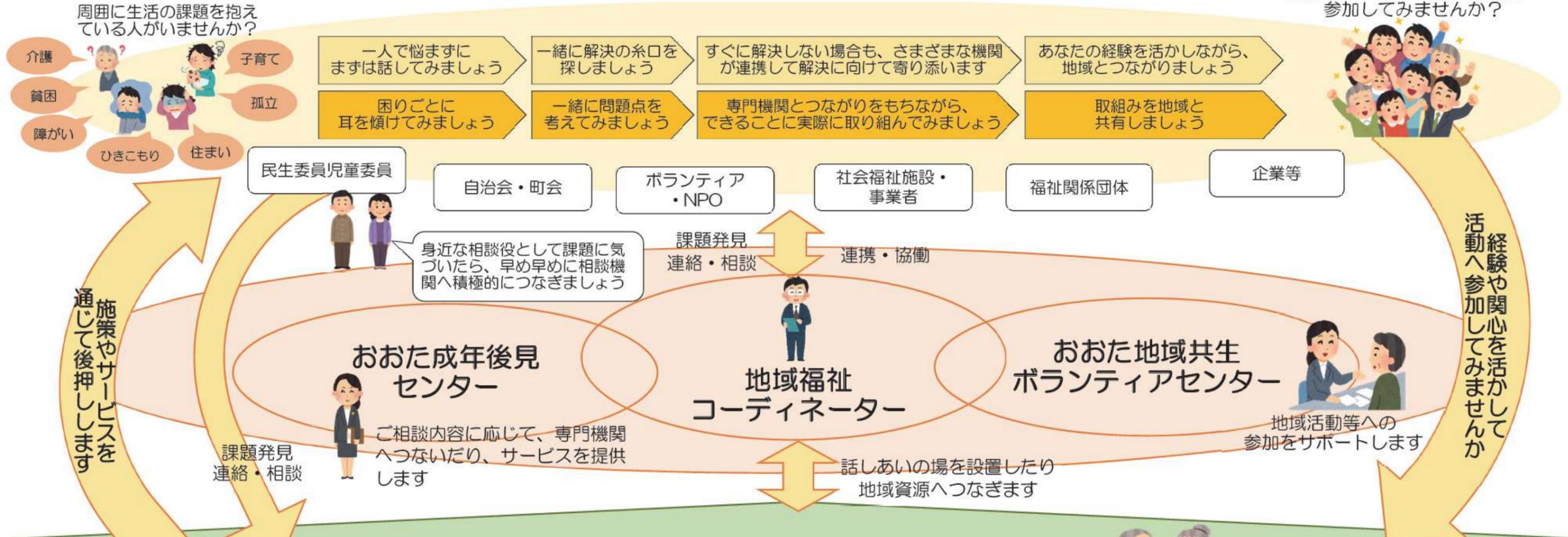
社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的存在として、社会資源の発掘、新たな資源の創出、地域活動の横のつながりをコーディネートするネットワーク構築の役割を担います。

大田区

大田区社会福祉協議会

# 「互いに結びあい 共に支えあう まち」の実現に向けて

課題が解決したら、同じような課題に困っている人への支援に参加してみませんか？



## 丸ごと支える支援の体制づくり

どんな相談に対しても相談者一人ひとりの声に寄り添い、丁寧に課題を聞き取り、個別支援に向けて支援内容を検討します。複合的な課題に対応する際は、対象者ごと・分野ごとに整備された福祉、教育、医療等の支援機関へつなぎ、あらゆる地域資源を組み合わせて、チームで協働し伴走支援する体制をつくります。

- 地域包括支援センター
- 障がい者総合サポートセンター
- 配偶者暴力相談支援センター
- 教育センター
- 子ども家庭支援センター
- 在宅医療相談窓口
- 生活再建・就労サポートセンターJOBOTA

等

## 支えあいの地域づくり

地域みなさんと自分たちの地域の課題について一緒に考え、解決に向かう土壌をつくっていきます。例えば、「地域のプラットフォーム」を活用して、多くの方々が支えあいの地域づくりに参加できるようにします。



個別課題と地域課題の  
一体的アプローチ

## 参加の場づくり

### つながりづくり

お隣さん同士の声掛けやちょっとした生活の困りごとの相談等、気軽に「つながり」が生まれる土壌をつくっていきます。

### 機会づくり

現在福祉活動に参加している人だけではなく、誰もがボランティアとして参加できる「機会」をつくり、継続して活動できる環境をつくっていきます。

### ひとづくり

福祉活動に参加する担い手を地域で育み、次の世代の「ひとづくり」へつないでいきます。

参加

## 安心の地域づくり

判断能力が十分でない人、認知症の人、精神障がいや知的障がいがある人をはじめ、すべての人の権利が守られ安心できる地域をつくり、共に支えあうまちの基礎をつくります。



## 大田区におけるコーディネーターの活動状況について

### 1 配置状況

平成24年度から、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などに対する、地域での見守り・支え合いのネットワークづくりに取り組み、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めるため、「見守りコーディネーター」を各地域包括支援センターに配置してきました。さらに、平成30年度には、「見守りささえあいコーディネーター」に名称を変え、地域づくりに特化した「地域ささえあい強化推進員」を新たに配置し、ともに「生活支援コーディネーター」として位置付けました。

平成31年3月に策定した「大田区地域福祉計画」では、個々の生活課題や地域課題と、公的サービスや支援機関、地域資源などを結びつけていく役割として、大田区社会福祉協議会の「地域福祉コーディネーター」と、「生活支援コーディネーター」を「地域福祉を推進するコーディネーター」に位置付け、大田区版の「地域共生社会の実現」に向けた体制強化を図ってきているところです。

年度	高齢者施策 推進プラン	地域福祉計画	コーディネーター配置		
			見守りささえあい コーディネーター	地域ささえあい強化推進員 (以下「強化推進員」)	大田区社会福祉協議会の 地域福祉コーディネーター
平成29年度	第6期プラン 「地域包括ケアシステムの構築」	大田区版「地域共生社会の実現」を掲げて策定 ※大田区社会福祉協議会でも計画策定を前倒しして「大田区地域福祉活動計画」を策定	※平成24年度から見守りコーディネーターを配置		・地域連携係を新設し、地域福祉コーディネーター配置準備
平成30年度	第7期プラン 「地域包括ケアシステムの深化・推進」		・見守りささえあいコーディネーターに名称を変更	・調布地域：2名配置 ・糀谷・羽田地域：2名配置	・基本圏域に1名ずつ、計4名配置
平成31年度 (令和元年度)			・生活支援コーディネーターとして位置付け		
令和2年度	第8期プラン 「地域包括ケアシステムのさらなる推進」		・馬込地区に地域包括支援センターを新たに1増設、それに伴い配置	・蒲田地域：2名配置 ・大森地域：2名配置	※おおた地域共生ボランティアセンターを設置、地域共生担当係長を配置 ・2名増員（1名は「特例貸付」に専従）
			<b>連携強化</b>		
令和3年度～	第8期プラン 「地域包括ケアシステムのさらなる推進」	・地域包括支援センター22か所 22名配置 ※ただし、専属配置ではない。	・強化推進員の執務場所を大田区社会福祉協議会に置き、地域福祉コーディネーターとのより一層の連携を強化する。 ●強化推進員：8名 ●地域福祉コーディネーター：5名 計13名		
<b>複合課題に取り組む個別支援などを含め、地域共生社会づくりの核となる「重層的支援体制整備事業」の整備を進める。</b>					

## 大田区における生活困窮者自立支援法の実施体制と実施内容について

### 1 生活困窮者自立相談支援事業等について

#### (1) 実施体制

自立支援機関名	大田区生活再建・就労サポートセンターJOBOTA
実施方法	委託：社会福祉法人やまて福祉会
所在地	大田区大森北1-11-1 柳原大森ビル6階 大森駅から徒歩3分
窓口開設時間	月曜から土曜の10時から18時（祝日・年末年始を除く）
職員体制	所長、主任相談員以下、常勤・非常勤あわせて20名体制 社会福祉士、精神保健福祉士、産業カウンセラー等各種資格保持者を配置
実施内容	(1)自立相談支援事業（必須事業） 経済的な自立や就労に向けて、相談者に応じた支援 (2)住居確保給付金（必須事業） 離職等により住居を失うおそれのある方へ、家賃相当額を支給 (3)就労準備支援事業（任意事業） 就労や生活習慣に課題を抱える方に、職場体験など就労を目指す支援 (4)家計改善支援事業（任意事業） 債務・滞納の解消など、家計を管理できる自立した生活に向けた支援

#### (2) 実績

項目	令和元年度	令和2年度
新規相談者数	1,558名	5,886名
支援プラン作成件数	461件	347件
内訳：住居確保給付金	59件	81件
就労準備支援事業	41件	15件
認定就労訓練事業	3件	2件
家計改善支援事業	50件	23件
就労支援事業	278件	247件
就労者数	177名	140名

### 2 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業

#### (1) 実施体制

実施方法	委託：NPO法人ユースコミュニティー
職員体制	教室責任者、学習支援専門員の他、大学生を中心としたアルバイトスタッフ50名程で運営
実施内容	(1)中学生学習支援 内容 基礎学力定着と高校進学を支援 会場 社会福祉センター、大森清掃事務所西分室、東糀谷老人いこいの家、仲池上老人いこいの家 日時 週1回、18時30分から21時まで実施 (2)高校生中退防止支援 内容 基礎的学習のサポート等により高校卒業を支援 会場 大田区社会福祉センター 日時 毎週日曜日 19時から21時まで実施 (3)若者学び直し支援 内容 高校進学、高等学校卒業程度認定試験の受験支援 会場 大田区社会福祉センター 日時 毎週金曜日 18時30分から21時まで実施

#### (2) 実績

項目	令和元年度	令和2年度
中学生学習支援 実利用人数 進学状況	151名 中学3年生112名(100%) が高校進学	149名 中学3年生149名(100%) が高校進学
高校生の中退防止支援 実利用人数 相談支援件数	16名 延べ242件	17名 延べ58件
学び直し支援 実利用人数 高校入学 高卒認定科目合格 高卒認定資格取得	8名 0名 2名 2名	8名 4名 1名 3名